第４回ＡＺＥＣ首脳会合における高市総理発言

ただいまから、第４回ＡＺＥＣ首脳会合を開催いたします。
共同議長のマルコス大統領始め、御出席の各国首脳の皆様の御協力に感謝をします。

東ティモール、インド、韓国の今次会合への参加を心から歓迎します。

エネルギー供給問題が顕在化する中、エネルギー安全保障、経済成長、脱炭素の同時実現の重要性が一層増しています。

本年発表した「パワー・アジア」を強化し、ＡＺＥＣを「ＡＺＥＣ２．０」へと進化させたいと考えております。

エネルギー強靱化に向けて、ＩＥＡ、ＥＲＩＡと緊急時の放出・融通のルール作りを目指す「アジア石油安全保障タスクフォース」を創設し、その中核を担う、ＩＥＡ東京拠点を新たに設立いたします。これを、いわゆる「アジア版ＩＥＡ」として提唱したいです。

また、日本の休止タンクを活用し、フィリピン主導の共同備蓄とも連携した、「アジアの石油備蓄協力」を提案いたします。バイオ燃料、ＳＭＲ、次世代太陽光も推進してまいります。

経済強靱化に向け、先端分野において世界人口約３割を占める「アジア共通市場」の創出を目指すため、「ブリッジ・アジア」イニシアティブを立ち上げます。
同時に、ＡＤＢ、ＥＲＩＡと連携し、トランジション・ファイナンス及びＧＸ投資を加速させます。

エネルギー、食料、防災、気候変動について、国際機関とも連携した危機管理投資も進めてまいります。

また、中東の湾岸諸国の経済・エネルギー強靱化に向けた包括的な協力計画として、「パワー・ガルフ」を提唱しております。
産油国とアジア消費国の連携強化を進めてまいります。

気候変動対策と経済成長は必ず両立できます。気候変動対策をしたら経済に悪

い影響があるんじゃないかとおっしゃる方もいますが、違うと思います。
必ず両立できます。

日本が産油国とアジアの結節点となり、「二国間クレジット制度」も活用し、
ＡＺＥＣを通じて、この地域を「共に強く、豊かに」してまいります。

これは、私が提唱する、「進化したＦＯＩＰ」の具現化であり、実現に向けた大きな一歩を皆様と共に踏み出したいと考えます。

（了）